



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社 シャルレ

上場取引所 東

コード番号 9885 URL <http://www.charle.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 奥平 和良

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 管理本部長 (氏名) 高田 博祐

TEL 078-792-8565

四半期報告書提出予定日 2019年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,361	△2.1	△102	—	△99	—	△74	—
2019年3月期第1四半期	3,433	△9.3	△154	—	△152	—	△111	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△4.70	—
2019年3月期第1四半期	△7.01	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	21,655	19,261	88.9	1,216.29
2019年3月期	22,221	19,483	87.7	1,230.35

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 19,261百万円 2019年3月期 19,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,360	3.9	380	241.8	380	227.3	250	278.6	15.79
通期	16,580	0.4	100	△72.5	90	△75.9	40	△82.1	2.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	16,086,250 株	2019年3月期	16,086,250 株
2020年3月期1Q	250,288 株	2019年3月期	250,258 株
2020年3月期1Q	15,835,974 株	2019年3月期1Q	15,836,132 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調にあるものの、通商問題が深刻化する中、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響が懸念されることから、先行き不透明な状況で推移しました。

国内レディースインナーウェア市場におきましては、個人消費は持ち直しつつも、節約志向や生活防衛意識は依然と根強く、新規参入企業による企業間競争の激化等、当社を取り巻く経営環境は厳しさを増しております。

このような環境のもと、当社は、2019年4月より2022年3月期を最終年度とする3か年の中期経営計画を策定し、「シャルレビジネス事業の再生」と「新規事業開発による新たな柱の創造」の2つの基本戦略に基づき、新たな経営体制をもって、経営改革の促進、業績回復等への取り組みを積極的に推進してまいりました。

商品面におきましては、衣料品類では、スポーツ用のインナーウェアである「スポーツブラジャー・ショーツ」を新発売し、ファンデーション類においては、対象ブラジャーのご購入者を対象とした販売促進キャンペーンである「ブラフェスタ(4月～5月)」を実施しました。それらにより、ブラジャーの売上本数は伸長し、ファンデーション類全体の売上高は前年を大幅に上回りました。生活関連商品類では、接触冷感素材を使用した「冷感敷きパッド」「冷感ピローパッド」を数量限定にて発売し、目標数量までには至らなかったものの、生活関連商品類全体の売上高は前年を大幅に上回りました。アウター類では、「シャルレドレッセ」より、夏のシーズンに向けたカットソーやパンツを発売し、また、日常のウォーキングシーンを想定した「サポートウォーク」より、ジャケット、カットソー、パンツを発売しましたが、いずれも販売不振により、アウター類全体の売上高は前年を大幅に下回りました。以上、衣料品類全体の売上高は26億23百万円(前年同四半期比0.7%減)と前年並みの推移となりました。

化粧品類では、基礎化粧品の「エタリテ」ブランドより、洗顔系のセット商品、並びにヘアケアの「シャルエーゼ」ブランドより、シャンプー等のセット商品を数量限定にて発売しました。しかしながら、既存定番商品の販売状況が低調に推移したため、化粧品類全体の売上高は4億67百万円(同7.1%減)と前年を大幅に下回りました。

健康食品類では、新商品の発売がなかったことや「定期お届け便」の利用者数の伸び悩みもあり、既存定番商品の販売状況が低調に推移したため、健康食品類全体の売上高は1億96百万円(同7.9%減)と前年を大幅に下回りました。

営業施策面におきましては、ビジネスメンバーの活動活性化を目的とした「シャルレスマイルプロジェクト2020」において、4月よりメイト会員及び一般消費者を対象としたプレゼント企画である「ワクワクキャンペーン(4月～5月)」を実施するとともに、前述の「ブラフェスタ(4月～5月)」を実施しました。いずれのキャンペーンにおいても、顧客との接点強化を目的に、新規顧客の獲得に積極的に取り組んでまいりましたが、ビジネスメンバーにおける集客活動の活性化が図れなかったことから、新メイト育成人数は伸長せず、前年を大幅に下回りました。

通信販売の「シャルレダイレクトサービス」におきましては、新規会員の獲得及び既存会員のリピート率の向上を目的とした販促キャンペーン等を実施しましたが、受注件数は伸び悩み、売上高は前年を下回りました。

新規事業におきましては、当社の第2の柱となる事業の探索を継続しております。

これらの結果、当第1四半期累計期間の経営成績につきましては、売上高は33億61百万円(同2.1%減)と減少しました。利益面につきましては、売上高の減少により、営業損失は1億2百万円(前年同四半期は1億54百万円の営業損失)、経常損失は99百万円(前年同四半期は1億52百万円の経常損失)、四半期純損失は74百万円(前年同四半期は1億11百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、現金及び預金の減少5億54百万円等により前事業年度末に比べ5億66百万円減少して216億55百万円となりました。

負債は、未払金の減少2億15百万円、賞与引当金の減少1億56百万円等により、前事業年度末に比べ3億43百万円減少して23億94百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当1億58百万円、四半期純損失74百万円等により、前事業年度末と比べ2億22百万円減少して192億61百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末の87.7%から88.9%に上昇しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,515	11,960
売掛金	89	117
有価証券	72	72
商品	3,821	3,836
貯蔵品	40	28
その他	185	168
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	16,714	16,174
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,047	1,029
土地	907	907
その他(純額)	786	739
有形固定資産合計	2,740	2,676
無形固定資産		
ソフトウェア	778	763
その他	11	11
無形固定資産合計	789	774
投資その他の資産		
投資有価証券	434	441
前払年金費用	954	959
繰延税金資産	358	386
その他	235	248
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	1,976	2,029
固定資産合計	5,507	5,480
資産合計	22,221	21,655

(単位:百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	663	606
未払金	817	602
未払法人税等	26	20
賞与引当金	223	67
その他	219	339
流動負債合計	1,950	1,636
固定負債		
売上割戻引当金	189	193
退職給付引当金	250	236
その他	347	326
固定負債合計	787	757
負債合計	2,737	2,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	11,131	10,898
自己株式	△131	△131
株主資本合計	19,497	19,264
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△13	△3
評価・換算差額等合計	△13	△3
純資産合計	19,483	19,261
負債純資産合計	22,221	21,655

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	3,433	3,361
売上原価	1,738	1,800
売上総利益	1,695	1,560
販売費及び一般管理費	1,849	1,663
営業損失(△)	△154	△102
営業外収益		
受取利息	0	0
有価証券利息	—	1
雑収入	2	2
営業外収益合計	2	4
営業外費用		
支払利息	—	0
雑損失	0	0
営業外費用合計	0	1
経常損失(△)	△152	△99
特別利益		
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税引前四半期純損失(△)	△150	△99
法人税、住民税及び事業税	5	2
法人税等調整額	△44	△28
法人税等合計	△38	△25
四半期純損失(△)	△111	△74

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。